2025年度　専門学校東京デザイナー・アカデミー　情報公開資料

閲覧資料◆D・E

1.学校概要

【建学の目的】

本学院は、学校教育法に基づき専門技術と豊かな教養を身につけた健全な文化人の育成を目的とする。

【所在地】

●東京デザイナー・アカデミー　御茶ノ水本校舎　東京都千代田区神田駿河台二丁目11番地
●東京デザイナー・アカデミー　西神田校舎　東京都千代田区西神田二丁目5番地6号
●東京デザイナー・アカデミー　神保町校舎　東京都千代田区神田神保町一丁目34番地2号

【学校長】

工藤　憲子（くどう　のりこ）

【歴史・沿革】

1960年　4月　東京デザイン研究所設立
1963年　4月　東京デザイナー学院設立
1965年10月　学校法人認可
1966年　3月　お茶の水総合校舎完成（現・東京デザイナー学院1号館）
1967年　4月　お茶の水校舎2号館完成
1974年　4月　お茶の水校舎3号館完成
1977年　3月　専修学校認可
1981年12月　神保町校舎完成
1985年　7月　西神田校舎完成
2013年10月　創立50周年
2024年　4月　専門学校東京デザイナー学院より校名変更

2. 課程及び学科、修行年限、ならびに定員

昼夜間	課程名	学科名（専攻）	修業年限	入学定員	総定員
Ⅰ部　昼間部	デザイン専門課程	グラフィックデザイン学科	2年	90名	180名
		イラストレーション学科	2年	90名	180名
		インテリアデザイン学科	2年	30名	60名
		フィギュアデザイン学科	2年	60名	120名
		マンガ学科	2年	30名	60名
		映像デザイン学科	2年	120名	240名
		プロダクトデザイン学科	2年	60名	120名
		ファッションデザイン学科	2年	30名	60名
		コミックイラスト学科	2年	60名	120名
		デザイン研究学科	1年	30名	30名
		デザイン総合学科	3年	30名	90名
	建築専門課程	建築デザイン学科	2年	30名	60名
		Ⅰ部（昼間部）合計		660名	1,320名

http://www.tdg.ac.jp/common/pdf/tdg_Information.pdf

3.各学科の教育

○グラフィックデザイン学科
【設置専攻】
デザイン専攻・映像表現専攻・イラストデザイン専攻・広告デザイン専攻・出版デザイン専攻・Web デザイン専攻[デザインコース] ・Web デザイン専攻[エンジニアコース]
【主な就業職種】
グラフィックデザイナー・アートディレクター・エディトリアルデザイナー・Web デザイナー・広告デザイナー・パッケージデザイナー・ブックデザイナー・DTP オペレーターなど
【学科の目的】
広告、出版、パッケージ、ロゴ、ブランド、キャラクターなど、多岐にわたるグラフィックデザインの仕事において、企業と連携した授業を行うことにより、卒業の時点で、あらゆる分野の仕事にも対応可能なデザイナーの育成を目的とする。

○イラストレーション学科
【設置専攻】
イラストレーション専攻・デジタルイラスト専攻・ゲームイラスト専攻・キャラクターイラスト専攻・絵本作家専攻
【主な就業職種】
イラストレーター・アートディレクター・グラフィックデザイナー・ゲームイラストレーター・コミックイラストレーター・挿絵画家・漫画家・コンセプトアーティスト・キャラクターデザイナーなど
【学科の目的】
イラストレーションを主軸に置きつつ Photoshop/Illustrator/InDesign を全専攻の必修科目に設定。また専攻ごとに特化したアプリスキルをプラスする事で、時代に沿った表現の舞台を押し広げられるイラストレーター育成を目的とする。

○インテリアデザイン学科
【設置専攻】
インテリアデザイン専攻・インテリアコーディネート専攻・空間演出デザイン専攻・家具デザイン専攻
【主な就業職種】
インテリアデザイナー・インテリアコーディネーター・インテリアプランナー・リフォームコーディネーター・ディスプレイデザイナー・イベントデザイナー・舞台美術スタッフなど
【学科の目的】
企業と連携したカリキュラムを推進することで、インテリアデザイン提案に必要な幅広い知識を持ち、プレゼンテーションスキルを身につけた専門性の高い技術者を育成する。授業にはインターンシップによる OJT に加え、企業に勤める上で必要となるビジネスマナーや商習慣に関する研修を行う。

○フィギュアデザイン学科
【設置専攻】
デジタル原型師専攻・キャラクターフィギュア専攻・キャラクタートイ専攻
【主な就業職種】
原型師・モデラー・3ＤＣＧキャラクターデザイナー・ＣＧクリエイター・キャラクターデザイナーなど
【学科の目的】
企業と連携し、常に業界の潮流を見極めながら、最新の技術の習得に野心的なフィギュアデザイナーを育成し、時代をリードしていくような人材を輩出していくことを目的とする。

○マンガ学科
【設置専攻】
マンガ専攻・マンガ原作専攻
【主な就業職種】
漫画家・漫画原作者・漫画家アシスタント・イラストレーター・漫画編集者・キャラクターデザイナー・グラフィックデザイナーなど
【学科の目的】
企業と連携した授業を展開することによって業界全体と幅広くつながりを持ち、その時代の旬の雑誌・電子書籍をチョイスし、売れ筋の画風、トレンドに合ったジャンル等をリードしながら即戦力となりうるスキルを授けて世に送り出す。

○映像デザイン学科
【設置専攻】
３ＤＣＧ専攻・ＶＦＸ専攻・モーショングラフィックス専攻・映像クリエイター専攻
【主な就業職種】
3DCG アニメーター・3DCG モーショングラフィッカー・3DCG モデラー・エフェクトアーティスト・カラリスト・ゲームコンポジター・リガー・背景モデラーなど
【学科の目的】
多岐に渡り、かつ目まぐるしいスピードで進化する映像業界において、活躍する人材の育成を目的とする。さらに企業と連携した授業を行うことによって、習得したスキルを如何に見せていくかまで意識した、即戦力として通用するクリエイターを輩出する。

○プロダクトデザイン学科
【設置専攻】
雑貨デザイン専攻・工業デザイン専攻・カーデザイン専攻・トイデザイン専攻
【主な就業職種】
プロダクトデザイナー・インダストリアルデザイナー・玩具デザイナー・雑貨デザイナー・アクセサリーデザイナー・カーデザイナー・原型師・家具デザイナー・デジタルモデラー・クレイモデラーなど
【学科の目的】
多岐にわたるプロダクトデザイン分野の中で、企業と連携した実践的な授業を通じて、企画力と技術力を兼ね備えた人材を育成し、将来のプロダクトデザイン業界を牽引していくようなデザイナーを輩出することを目的とする。

○ファッションデザイン学科
【設置専攻】
ファッションデザイン専攻・コスチュームデザイン専攻・ファッション流通専攻・古着・セレクトショップ専攻
【主な就業職種】
ファッションデザイナー・コスチュームデザイナー・バイヤー・ヘアメイクアーティスト・ネイリスト・アパレルショップ店員など
【学科の目的】
企業と連携することによって、常に変化するファッション業界・メイク業界の動向をタイムリーにカリキュラムに取り入れると同時に、業界と温度差のないシームレスな授業を行うことによって、他のスタッフをけん引していけるようなリーダーシップを持った人材を輩出する。

○コミックイラスト学科
【設置専攻】

コミックイラスト専攻・コミックキャラクター専攻
【主な就業職種】
コミックイラストレーター・2DCG グラフィッカー・グラフィックデザイナー・挿絵画家・漫画家・キャラクターデザイナー・グッズデザイナーなど
【学科の目的】
イラストレーションの中でもデジタルペイントに特化したコミック的な表現方法に優れ、ゲーム・コミックスなどのエンターテイメント業界に主軸を置いて活躍できるようなイラストレーターの輩出を目的とする。またフリーランスイラストレーターとしてデビューのサポートも強化、育成していく。

〇デザイン研究学科
【設置専攻】
なし
【主な就業職種】
自身が目指す専門分野で、関連する学科の就業職種となります。
【学科の目的】
クリエイティブ人材を育成する。デザイン系、芸術系、建築系の大学・短大及び高等専門学校を卒業された方が対象。

〇デザイン総合学科
【設置専攻】
なし
【主な就業職種】
デザイナー・キュレーター・ディレクター・企画職・広報/PR 職
【学科の目的】
イノベーションを創出する人材育成を強化していくため、これまでの狭い分野の垣根を越え領域を横断できる学びの場をめざす。授業では全ての領域を繋がった一つのデザインと捉え、変わりゆく社会に隠れたニーズを探り出し、飛躍的発想で生活を豊かにする「デザイン思考」の方法論を学ぶ。また企業との連携を推進することで、プレゼンテーションスキルを身につけたクリエイティブ人材を育成する。

〇建築デザイン学科
【設置専攻】
建築デザイン専攻・住宅デザイン専攻
【主な就業職種】
一・二級建築士（資格取得後）・建築デザイナー・建築プランナー・建築施工管理技士・住宅デザイナー・住環境コーディネーター・店舗デザイナー・都市計画プランナーなど
【学科の目的】
企業と連携した授業により、実務で求められる製図能力、プレゼンテーションスキル、構造、設備、法律、構法などの実践的な建築的知識・技術の学習を総合的に習得し、業界の需要に幅広く対応できる基礎力を養成する。

4. 学生数の状況（2025 年 4 月現在　※卒業者数は 2025 年 3 月）

①学生総数　1036 名
②入学者数　 483 名
③卒業者数　 457 名

5. 単位制と卒業

履修した教科目について所定の単位が認定され、その単位合計と修了制作合格判定によって卒業を認定する。

①基本教科目および選択教科目の単位

Ⅰ部デザイン専門課程：週 1 時限（45 分）を 1 期履修した場合、1 単位と認定する。

Ⅰ部建築専門課程　　：週 2 時限（90 分）を 1 期履修した場合、1 単位と認定する。

②単位取得条件

課題・レポートの提出評価、およびテストの評価等により、A・B・C・D・E の 5 段階で成績評価を判定する。D 以上の評価で、その教科目の単位を認定する。

③卒業規定

以下の規定を充たし、かつ所定の学費を完納した者に対し、卒業を認定し専門士の称号を授与する。

Ⅰ部デザイン専門課程：108 単位以上の取得

Ⅰ部建築専門課程：52 単位以上取得＋卒業設計合格

6. 教職員

①本務者　64 名
②兼務者　162 名　合計 226 名

※2025 年 6 月 1 日現在

④教職員組織

【学校長】工藤 憲子

○グラフィックデザイン学科
【学科長】月岡 正明【専任教員】田中 智恵・候 宇帆【準専任】関澤 遼・木村友紀子

○映像デザイン学科
【学科長】塚本 浩貴【専任教員】松原 樹雷・堀井 義文・横山 彩子・山田健二

○コミックイラスト学科
【学科長】田中 新兵【専任教員】佐藤 千尋・志賀 直紀

○イラストレーション学科
【学科長】久坂 奏【専任教員】右田 啓子・金井塚 睦【準専任】成田 礎音

○マンガ学科
【学科長】椿 遊介【専任教員】山本 凪沙【準専任】丸山 萌

○ファッションデザイン学科
【学科長】小田切 多喜【準専任】渡邊 芳香

○フィギュアデザイン学科
【学科長】竹田 卓司【専任教員】熱田 慶太郎・小池 雄貴

○プロダクトデザイン学科
【学科長】村山 君学【専任教員】杉本瑞希・小池 雄貴※兼任

○インテリアデザイン学科
【学科長】下田 和幸【専任教員】高橋 予帆子

○デザイン総合学科
【学科長】下田 和幸

○建築デザイン学科
【学科長】仲俣 直紀

○キャリアサポートセンター
田畑 風音・有賀 史彦・戸澤 年・内藤 紗綾・石関 真・海老根 優奈・池田 日向子

○留学生センター
多田 起子・仁賀 智之・佐々木 優乃・濵田 綾子

○学務事務
徳間 智康・海老原 崇

7. キャリア教育・学生の就職支援

①キャリア教育

キャリアサポートセンターのスタッフによる授業を実施。短期的・長期的キャリアプランの立案、およびコミュニケーションスキルの習得を目途としている。また、担任による面談を実施、本人のキャリアプランに合った選択科目の履修のアドバイスをしている。

②就職に関する支援体制

就職に関する情報は全てキャリアサポートセンターに集約し、担任とキャリアサポートセンターの職員が連携を取って就職支援を行う体制を整えている。平素のキャリアカウンセリング業務に加え、就職活動について基本的な理解を深めるためのセミナーの実施、学生と企業とのマッチングを創出するための学内企業説明会の開催、その他、年間を通じた各種イベントを通じ、全教職員による学生の就職支援体を取っている。

8. 学生の生活支援

②学生生活に関する相談支援体制

学生生活に関しては、担任制を取っており、定期的なカウンセリングと状況確認、就職希望調査を行なっている。随時、個人的な質問にも対応できる体制を取っている。

③学生の経済的側面に対知る支援体制

学生の経済的側面に対する支援対策に関しては、「日本学生支援機構奨学金」による申し込みをメインとして薦めている。また、学校独自の支援対策として、特待生制度を導入している。

④学生寮等、学生の生活環境への支援体制

学生寮等、学生の生活環境に関しては、提携寮があり、学校と寮管理者で学生の状況を把握し、学生が快適に生活できるように努めている。

⑤保護者との支援体制

保護者との連携に関しては、学校生活の中で心不安なことや、抱えている問題について担任に随時相談できるような支援体制を整えている。また、必要があれば保護者と学生、担任による三者面談を実施し、問題の解決に努めている。

⑤卒業生への支援体制

卒業生も随時キャリアサポートセンターの利用ができることを在学中から全学生に周知。卒業後であっても就職支援が受けられる体制を整えている。

9. 学生納付金・就学支援

①学生納付金

学科	年次	入学金	授業料	教育充実費	設備費	アカデメイアネクサス費	学生傷害保険料	合計
全学科共通	1 年次	¥170,000	¥9200,000	¥100,000	¥180,000	¥10,000	¥2,000	¥1,382,000
	2 年次		¥1,112,000	¥100,000	¥180,000		¥2,000	¥1,394,000

※選考料は除く

②経済的支援措置

●日本学生支援機構の奨学金制度
●各新聞社の新聞奨学生制度
●提携ローン会社の教育ローン

●日本政策金融公庫の教育ローン
●本校独自の奨学金制度（特待生制度）

10.学校の財務

以下の URL を参照のこと
https://www.akademeia21.com/financial/

11.自己点検・自己評価報告書
https://www.tdg.ac.jp/common/pdf/tdg_Selfassessment.pdf

12.学校関係者評価報告書
https://www.tdg.ac.jp/common/pdf/tdg_Hyouka.pdf

13.成績評価・GPA 制度について

GPA 制度とは、授業科目ごとに５段階で評価された成績に対して段階ごとに「Grade point(GP)」と呼ばれるポイントを付与し、単位当たりの平均「Grade point Average(GPA)」を算出して、その一定水準を卒業などの要件とする制度。この GPA は、修学への取り組みを質的に把握するための指標となり、年次ごとに比較することで、学修した成果を判断する目安となる。

成績（評点）	成績（評価）	GP
100～90 点	A	4.0
89～80 点	B	3.0
79～70 点	C	2.0
69～60 点	D	1.0
59 点以下	E	0

GPA 算出方法

GPA の計算は、小数点第３位以下を切り捨てる

$$\frac{\text{（在学期間において履修登録した科目の取得単位数）} \times \text{（その科目で得た GP）の総和}}{\text{在学期間において履修登録した科目の総合単位数}}$$

※「科目」は、１年次には１年次に開講している全ての授業科目、
２年次には１年次及び２年次に開講している全ての授業科目が対象。

以上